

## “The Japan Observatory” at Milano Unica 2016A/W

# JAPAN

Observatory

【開催概要】

欧州最高峰の展示会 Milano Unica (MU)に、2014年9月、欧州外から初の出展を果たした「The Japan Observatory」は、初回が29社・グループ、第2回目の2月が34社・グループが参加して開催された。第3回目となる今回も、MU内に前回同様の形態で「The Japan Observatory」を設置し、日本繊維産業の最重要課題である“輸出促進”とジャパン・テキスタイルのブランディング化に取り組んで行く。



### ■ Milano Unica 2016 Autumn & Winter

展示会名：Milano Unica 2016 A/W

会 期：2015年9月8日(火)～10日(木) 9:00～18:30

会 場：Portello Fieramilanocity



第21回目となる Milano Unica 2016A/W は、ミラノ万国博覧会の最中に開催される。今回より「The Japan Observatory」に続き「The Korea Observatory」がスタートする同展は、MU 発足以来トレンドディレクターを担当してきた Angelo Uslenghi 氏が交代し、ほぼ固定化されていたレイアウトも変更する予定。また、一部サプライヤーの会期前倒しニーズに応え『PRIMA MU』(7月1～3日:Portello Fieramilanocity Hall.3)を開始、同時にサテライト展に関しても Intertextile 上海展への出展契約延長を発表、また、新たに NY でも『MU in NY』(7月20～22日)をスタートさせる等、“Milano Unica”と云うブランド力を活かし、急速に国際化へ舵を切っている事が伺える。

### ■ 「The Japan Observatory」at MU 2016 Autumn & Winter 開催概要

◇ 展示会名：「The Japan Observatory」 at Milano Unica 2016A/W

◇ 会 期：2015年9月8日(火)～10日(木) 9:00～18:30

◇ 出展場所：Milano Unica 会場内の特設エリア (Hall 2)

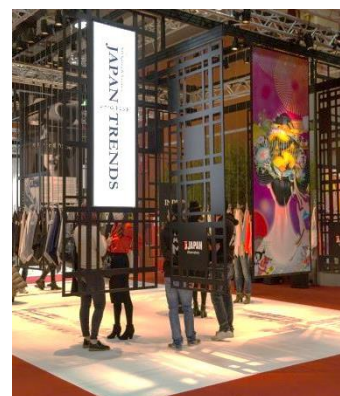
◇ 出展概要：企業ブース+JAPAN TEXTILE PR ブース(計735㎡)

◇ 出展企業：48社・グループ(総参加企業数52社)

◇ 主 催：一般社団法人日本ファッション・ウィーク推進機構(JFW)  
独立行政法人日本貿易振興機構

◇ 協 力：日本繊維産業連盟

◇ 後 援：経済産業省



## □ 「The Japan Observatory」 at Milano Unica 2016A/W 出展状況

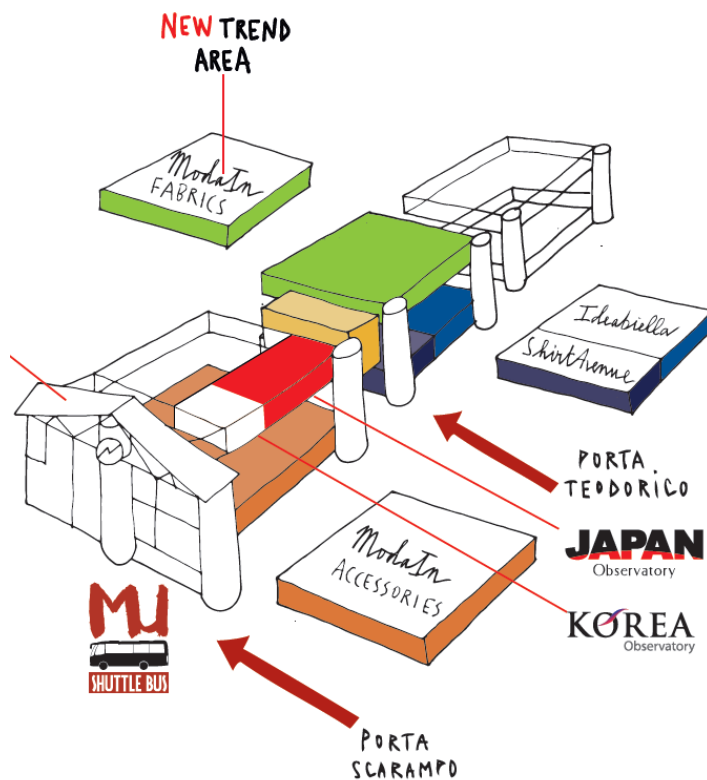
第3回目の出展となる「The Japan Observatory」(JOB)は、前回の34社・グループを大幅に上回る48社・グループが参加して開催される。前回の2月展はテロによる政情不安やルーブル下落など経済環境の不透明さに加え、天候にも恵まれなかった事で MU 全体の来場者数も減る中、JOB も例外ではなく、初回に比べ来場者は減る結果となった。ただ、A/W 展に対し S/S 展は例年15%前後減る事が常であり、前回より来場者は減っても、商談件数自体は前回並みを維持した出展者も多くあった事で、今回の大幅な出展者増に繋がった。今回の初参加は16社。

The Japan Observatory at Milano Unica 2016 A/W 出展社一覧 (2015/4/23)					
#	企業・団体名	団体参加企業名	都道府県	企業区分	小間(m <sup>2</sup> )
1	株式会社足羽工業所/畑岡株式会社	—	福井県	中小企業	9
2	公益財団法人一宮地場産業 ファッションデザインセンター	Team GIFU:岩田健毛織株式会社/ファインテキスタイル株式会社	岐阜県	中小企業	52 (36)
3		長大株式会社	愛知県	中小企業	
4		遠山産業株式会社	愛知県	中小企業	
5		中伝毛織株式会社	愛知県	中小企業	
6		株式会社日興テキスタイル	岐阜県	中小企業	
7		株式会社ヒラノ	愛知県	中小企業	
8	伊藤忠商事株式会社 北陸テキスタイル課	—	大阪府	大企業	26
9	宇仁織維株式会社	—	大阪府	中小企業	36
10	株式会社エイガールズ	—	和歌山県	中小企業	18
11	カネマサ莫大小株式会社	—	和歌山県	中小企業	9
12	小林当織物株式会社	—	群馬県	中小企業	9
13	嘉栄織物株式会社	—	福島県	中小企業	9
14	株式会社サンウェル	—	大阪府	大企業	18
15	スタイレム株式会社(旧:瀧定大阪)	—	大阪府	大企業	36
16	第一織物株式会社	—	福井県	中小企業	36
17	瀧定名古屋株式会社	—	愛知県	大企業	26
18	東光商事株式会社	—	大阪府	中小企業	26 (18)
19	東レ株式会社	—	東京都	大企業	52 (36)
20	東レ合織物クラスター	一村産業株式会社	大阪府	大企業	72 (36)
21		ケイテー・テクシーノ株式会社	福井県	中小企業	
22		小松精練株式会社	石川県	大企業	
23		サカイオーベックス株式会社	福井県	大企業	
24		テックワン株式会社	石川県	中小企業	
25		福井経編興業株式会社	福井県	中小企業	
26		松文産業株式会社	福井県	中小企業	
27		丸井織物株式会社	石川県	中小企業	
28	一般社団法人福井県繊維卸商協会	旭化成アドバンス株式会社	東京都	大企業	44 (36)
29		熊澤商事株式会社	福井県	中小企業	
30		富田商事株式会社	福井県	中小企業	
31		株式会社中健商店	福井県	中小企業	
32		ひかり商事株式会社	福井県	中小企業	
33	福井県ニット工業組合	八田経編株式会社	福井県	中小企業	26
34		有限会社ハルテック	福井県	中小企業	
35		三国トリコット株式会社	福井県	中小企業	

36	FUKUI 布のえき	中嶋機業場/株式会社山崎ピロード	福井県	中小企業	9
37	古橋織布有限会社	—	静岡県	中小企業	9
38	前多株式会社	—	石川県	中小企業	9
39	宮眞株式会社	—	京都府	中小企業	9
40	八木通商株式会社	—	大阪府	大企業	26
41	山梨県絹人織織物工業組合	糸の音: 郷田商店/横田商店/武藤	山梨県	中小企業	36 (18)
42		株式会社川栄	山梨県	中小企業	
43		株式会社前田源商店	山梨県	中小企業	
44		宮下織物株式会社	山梨県	中小企業	
45	米沢織物工業組合	青文テキスタイル株式会社	山形県	中小企業	36 (18)
46		株式会社安部吉	山形県	中小企業	
47		嵐田絹織株式会社	山形県	中小企業	
48		羽生田織物株式会社	山形県	中小企業	
				計	638

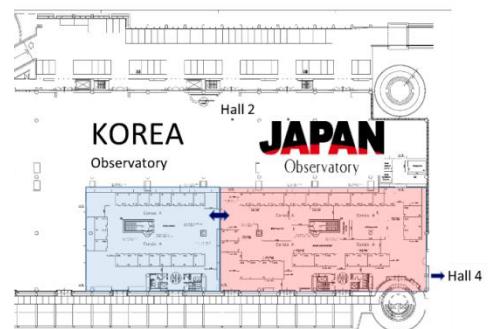
### □ MU会場構成

今回より JOB と同じ Hall.2 に「The Korea Observatory」がスタートする。両 Observatory は各々独立した形態ながら、コネクションゲートを設けて来場者の回遊性を担保する予定。また、従来、中2階に固定されていた MU トренд・コーナーは、今回 JOB と同一レベルとなる Hall.4 に設置される事で、JOB は新たなる来場者の流れを活用できるものと思われる。また、以前より MU トренд・コーナーへの日本素材展示を折衝して来たが、今回より認められる事になった。日本素材は日本製である表示の付いたラベリングにより区別される。この事は、日本素材の良さを既に認識しているリピーターだけでなく、新規来場者獲得に大いに役立つ事が期待される。



MU TREND AREA

Hall.2 Layout



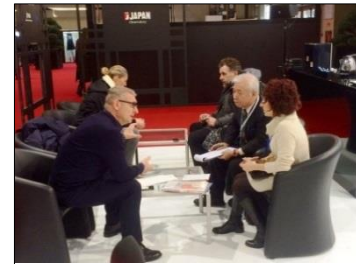
## □ JAPAN TEXTILE PR コーナー (TREND&INDEX、「匠の技」コーナー)

過去2回、JFW トレンド・ディレクションに沿った編集展示とスタイリッシュな施工で、「とてもモダンで素晴らしい」と来場者から評価を得ている JAPAN TREND & INDEX コーナー。今迄は4つのトレンドテーマの内、2つのテーマ絞って編集展示して来たが、今回は出展者も大幅に増えた事から、東京/上海と同じく4テーマ構成とする。更に今回は、JOB 内のビジターズ・ラウンジを利用し、日本素材の素晴らしさや差別化された技術を紹介する動画「匠の技」(仮称)放映と、その内容と連動した素材・ガーマント製品を展示し、立体的な手法で新規客を JOB に呼び込む。従来は欧州にはないモノ、非欧州的な美意識を意識してきたが、今回からは(「The Korea Observatory」もスタートする事から)、欧州だけでなく韓国との差別化も同時に求められ、日本素材や産地の特徴を来場者に向けて効果的に発信して行く。



## □ ビジネス・マッチングと著名来場バイヤー誘致

今回もジェット口による著名ブランドとのビジネス・マッチングを実施する。前回は G・アルマーニ、フェンディ、ミッソーニ、ディーゼル等のイタリア著名メゾンを始め、ルイ・ヴィトン、サンローラン、ヒューゴ・ボスなど、欧州のハイブランドが来場し活発なマッチングが行われた。今回もジェット口のネットワークをフル活用し、前回訪れた多くの著名ブランドもリピーターとして JOB に呼び込む。



### 《前回の主な著名来場バイヤー》 \*JOB 来場者バーコードスキャン・リストより抜粋

プラダ、グッチ、ドルチェ&ガッバーナ、ディー・スクエアード、マルニ、フェラガモ、ジル・サンダー、ジャンニ・ベルサーチ、ジョルジオ・アルマーニ、フェンディ、ポッテガ・ベネッタ、コスチューム・ナチュラル、エミリオ・プッチ、バレンティノ、エトロ、ロベルト・カヴァーリ、ミッソーニ、E・ゼニア(ガーマント)、ディーゼル、ニール・バレット、インコテックス、ルイ・ヴィトン、サンローラン、クリスチャン・ディオール、エルメス(オム)、バレンシアガ、カール・ラガーフェルト、ジバンシィ、ピエール・バルマン、モンクレール、バーバリー、マッキントッシュ、ヒューゴ・ボス、エスカーダ、ラルフ・ローレン、ブルックス・ブラザーズ、トミー・フィルフィガートツ 等

### TOPICS: MU 新クリエイティブ・ディレクター Mr.Stefano Fadda (ステファノ・ファッダ)

Profile) 1971年 Sondrio(Lombardy)生れ。ミラノ工科大学にて建築を学ぶ。経歴として、ファッション、ラグジュアリー分野において、アートディレクター、イメージ、マーケティング、及びコミュニケーション・コンサルタントとして活躍、数々のメゾン・ブランド(Prada, Valentino, Giorgio Armani, Chanel 等)多数のプロジェクトに携わる。2015年7月のMUプレコレクションよりトレンド・ディレクションをスタート。